

ITILプロセスの実践により、ICTシステムの運用管理の目的や必要性を学習

# よくわかる運用管理シリーズのご紹介

富士通のソフトウェアトレーニング「よくわかる運用管理シリーズ」は、ITILプロセスの実践例をもとにICTシステムの運用管理の目的や必要性について、わかりやすく解説した初心者向けの全8コースのシリーズです。

本シリーズを受講することで、ITILのプロセスを実践し、ICTシステムを効率よく運用管理するための知識や、運用管理のノウハウを習得することができます。

各コースでは、ICTシステムの運用管理について、ITILプロセスを基本として富士通の実践経験を活用し、失敗しない運用管理の実践にむけて、活用する運用管理ツールの必要な機能や役割などを詳細に解説します。

## ご利用イメージ

- 運用管理とは何か？ どう進めれば良いか？ ICTツールの活用方法は？ 運用管理設計の具体的な解決策は？ など、ITILのプロセスを基本に、富士通の実践経験をもとに運用管理の詳細なノウハウを短時間で習得できます。

**【運用管理観点】**

**【システム観点】**

**【お客様観点】**

1.3.2 お客様の思い

- 仮想化システムを構築し、イベント管理を運用しているが、次は何をしたらよいのか
- 不正アクセスや情報漏えいをチェックしたい
- 将来の設備増強をどうしていけばよいかの指針が欲しい
- システムで発生した内容やその対処ノートを蓄積し、すぐに見たい
- 運用管理者が変わっても運用レベルを落とさずに継続させたい
- システムはどこかに問題点が隠れているのではないのか
- リソースを本当に有効活用できているかわからない

・システムのリソースが有効活用できているのかを把握したい。  
・運用中のシステムには隠れた問題点があるのではないかと不安である。

3.3 ITILに基づいた管理

4.2 運用モデル

システム構成

登場人物

オペレーター：システムを監視する  
運用管理者：システムを管理/保守する  
ユーザー：システムを利用する  
業務担当者：業務アプリを開発/保守する

運用管理者は、システム全体の管理と保守など、通常SEが行う業務も行います。業務担当者は、業務アプリケーションの保守や開発を行います。

**Point 1** ITILプロセスによる運用管理の実践についてわかりやすく解説しています！

**Point 2** 期間内であれば、ご自分のペースで何度でも繰り返し閲覧できます！

## 商品情報

- 学習形態： eラーニング
- 受講期間： 3か月
- お申込み： FOMダイレクト <https://directshop.fom.fujitsu.com/shop/main>

(商品カテゴリ：富士通ソフトウェア>ソフトウェアトレーニング>「IT技術(セミナー) シリーズ」)

コース名/概要	標準受講時間	価格 (税抜)
よくわかる運用管理 (概要編)	2時間	13,000円
運用管理とは何か、その目的は、業務を止めない運用管理を実現するためのポイントを運用事例に基づいて解説します。		
よくわかる運用管理 (インシデント管理・問題管理編)	2時間	13,000円
インシデント管理や問題管理に要求される役割と機能について学習します。そして、これらの管理プロセスの導入を成功に導くためのポイントを運用管理者の経験に基づいて解説します。		
よくわかる運用管理 (イベント管理編)	2時間	13,000円
イベント管理の役割と要求される機能やイベント管理を導入して運用する場合のポイントについて、実践経験に基づいて解説します。		
よくわかる運用管理 (性能管理・キャパシティ管理/変更管理・リリース管理編)	2時間	13,000円
性能管理・キャパシティ管理、変更管理・リリース管理の役割と要求される機能について解説します。		
よくわかる運用管理 (構成管理・資産管理・セキュリティ管理編)	2時間	13,000円
構成管理・資産管理、セキュリティ管理の役割と要求される機能や実際に管理プロセスを導入して運用する場合のポイントについて解説します。		
よくわかる運用管理 (クラウド環境の運用管理編)	2時間	13,000円
クラウド環境における運用管理の必要性と管理のポイントについて学習します。また、様々なクラウド環境を効率よく管理する方法を解説します。		
よくわかる運用管理 (冗長性・信頼性/バックアップ運用保守/ジョブ管理編)	2時間	13,000円
システムの冗長化や信頼性、および要求される機能や実現するためのポイントについて解説します。また、業務の信頼性を実現するためのジョブ管理について要求される機能とポイントについても解説します。		
よくわかる運用管理 (運用管理提案・設計の考え方編)	2時間	13,000円
運用管理を提案するためのポイントと設計の考え方についてケーススタディを通して学習できます。また、適用事例の紹介や運用管理システムを導入した場合のシステム運用の落とし穴についても学習できます。		

お問い合わせ先

**富士通株式会社**

ソフトウェアプロダクト事業本部 富士通ソフトウェアトレーニング事務局

E-mail : [contact-sw-training@cs.jp.fujitsu.com](mailto:contact-sw-training@cs.jp.fujitsu.com)

富士通ソフトウェアトレーニング

検索